

可憐にして、壯観

第16回

# はすまつり



7月5日(土)、南条はす公園ではすまつりがオープンしました。

オープン式ではテーブカットや南条中和太鼓部の演奏が行われ、8月10日まで開催されるまつりの開幕を祝いました。

はす公園で今年最初に花が咲いたのは6月19日。梅雨入りが遅れ、日照時間が長かったこともあり昨年より早く、舞妃蓮が咲きました。

7月中旬からほぼ満開となり、県内外から多くの観光客が訪れ、純白やピンク、赤紫色など、優雅に咲き誇った清涼感たっぷりの花蓮を楽しんでいました。

## 外国産の新種がデビュー

今年も外国産の花蓮をと、3つの外国産新種がデビュー。インド産のインド蓮、アメリカ産のオハイオ蓮、ブラジル産の南米ブラジルが花を咲かせ、はす公園に新たな彩りを加えています。



▶オハイオ蓮

▲南米ブラジル

▲インド蓮

## 幻想的に演出

### 花はす灯ろう展示

昨年引き続き、蓮の花を模した花はす灯ろうが観賞池周辺と水面にお目見え。

これは、京都市在住の工芸作家中川光年(こうねん)さんが、昨年初めて展示。今年の中川さんが新たに製作した22基と、中川さんの指導を受けた町民ボランティア製作の8基を展示しました。訪れた人たちは、ぼんやりとした明かりが水面に映えた幻想的な世界に、しばし時間が経つのを忘れていたようでした。

また、19日、20日の夜にはライトアップされた観賞池の周りに「上野はね踊り」などの盆踊りの輪が広がり、まつりを盛り上げていました。

## 象鼻杯

はすまつり名物、蓮の葉に穴を開け、茎を通してジュースなどを飲む象鼻杯。今年も大人気！



ゾービー君がお出迎え

